

## 2018 年度第 3 四半期決算説明会

### 概要

---

日時：2019 年 1 月 31 日（木） 16：30～17：30

場所：東京都港区赤坂 5-2-20 赤坂パークビル 21F

スピーカー：株式会社 WOWOW 代表取締役社長 田中 晃

株式会社 WOWOW 取締役副社長 黒水 則顯

### 登壇

---

司会: それでは定刻になりましたので、株式会社WOWOW、2018 年度第 3 四半期決算説明会を開催させていただきます。本日はお忙しい中ご出席いただき、誠にありがとうございます。なお、本日の説明会でお話しした内容と質疑応答に関しては、外部機関を通じて全文配信および弊社の WEB サイトに掲載されますのでご了承ください。

はじめに本日の出席者をご紹介します。皆様方から向かって左側から、代表取締役社長、田中晃でございます。

田中: どうぞよろしくお願いいたします。

司会: 取締役副社長、黒水則顯でございます。

黒水: どうぞよろしくお願いいたします。

司会: それでは社長の田中より、2018 年度第 3 四半期決算ハイライトのご説明をさせていただきます。

## 2018年度第3四半期決算 ハイライト

累計正味加入件数は290万1千件。収支は増収減益に

### 加入

- 大坂なおみ選手が日本人初のグランドスラム優勝となった「全米オープンテニス」や、「安室奈美恵」、「東方神起」、テレビ初放送となった「B'z」のライブなどが新規加入に貢献

(単位：千件)

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期差	前年同期比
新規加入件数	419	489	70	116.7%
解約件数	384	465	80	120.9%
正味加入件数	35	25	△10	70.9%

### 収支(連結)

- 売上高は累計正味加入件数が増加したこと等より、前年同期と比べ増収
- 経常利益は前年同期に比べ大型コンテンツへの費用投下等を行なったため、減益に

(単位：百万円)

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期差	前年同期比
売上高	60,635	61,378	743	101.2%
営業利益	9,396	6,764	△2,632	72.0%
経常利益	9,912	7,315	△2,596	73.8%

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

田中: 田中でございます。本日はお忙しい中、また寒くなっている中お越しいただきまして、誠にありがとうございます。私からまず四半期決算のハイライトを簡単に申し上げたいと思います。資料あるいは前方のスクリーンにありますけども、まず加入でございます。新規加入件数48万9,000件、解約件数46万5,000件、正味加入件数が2万5,000件となり、累計正味加入件数は290万1,000件となりました。

大坂なおみ選手が先日、全豪オープンで劇的な勝利を飾って大変ニュースになっております。第3四半期ではご記憶にあると思います、大坂なおみ選手が日本人初のグランドスラムを優勝し、錦織圭選手がベスト4となりました、全米オープンテニス。こういったスポーツコンテンツが新規加入をけん引いたしました。また大型の音楽ライブ。安室奈美恵のファイナルツアー、あるいは東方神起のライブ。またはテレビ初放送となりましたB'zのライブ。こういったものも新規加入に貢献いたしました。それに基づきまして連結の収支でございますが、売上高が613億7,800万円。累計正味加入件数の増加等により前年同期と比べて増収でございます、前年同期差プラスの7億4,300万となっております。経常利益でございますが、73億1,500万円。こちらのほうは前年同期に比べまして25億9,600万円の減益となっております。これは常々申し上げておりますけれども、前年同期に比べまして大型コンテンツへの費用投下を戦略的に行った結果でございます。それでは数字の詳細につきまして、副社長の黒水より説明をいたします。

## 2018年度第3四半期 加入状況

(単位：千件)

	2017年度3Q	2018年度3Q	前年同期比較	
			前年同期差	前年同期比
新規加入件数	419	489	70	116.7%
解約件数	384	465	80	120.9%
正味加入件数	35	25	△10	70.9%
累計正味加入件数	2,858	2,901	43	101.5%
内) 複数契約*1	419	417	△3	99.4%
内) 宿泊施設契約*2	59	63	3	105.7%

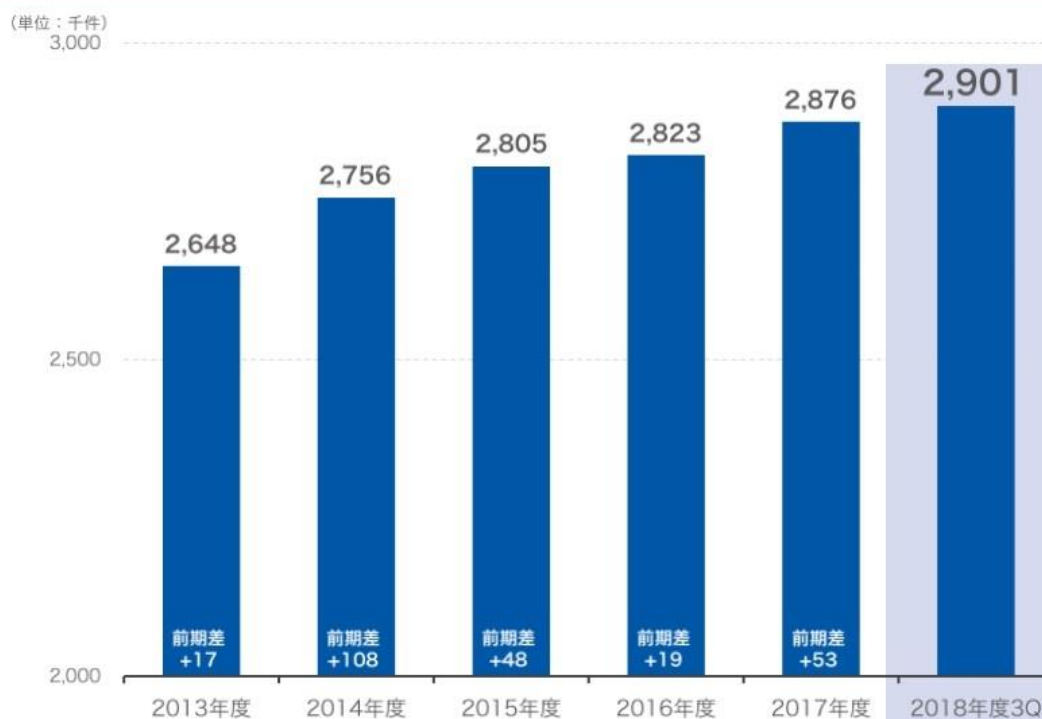
\*1 同一契約者による2契約目と3契約目のデジタル契約に割引制度を適用 (月額2,300円の視聴料金を900円に割引。金額は税抜き)

\*2 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との個別契約

黒水: それでは黒水から、3ページから9ページまでご説明を申し上げます。まず3ページは2018年度第3四半期の加入状況、一部今の話と重複もございますが、ご説明申し上げます。18年度第3四半期の新規加入件数は48万9,000件、前年同期と比べて7万件の増加となっております。全米オープンテニス、安室奈美恵、東方神起、B'zのライブ等が新規加入をけん引しました。

解約件数は46万5,000件、前年同期と比べますと8万件の増加となっております。正味加入件数は2万5,000件の純増、前年同期と比べ、1万件の減少となりました。累計正味加入件数は290万1,000件、前年同期と比べ4万3,000件の増となっております。

## 累計正味加入件数の推移



続きまして、累計正味加入件数の推移でございます。2013年度からの累計正味加入件数の推移はご覧のとおりでございます。累計正味加入件数は2006年度から2017年度まで、12期連続正味加入件数純増となっております。2018年度第3四半期の累計正味加入件数は、先ほど申しましたけども290万1,000件となっております。

## 2018年度第3四半期 収支状況

(単位：百万円)

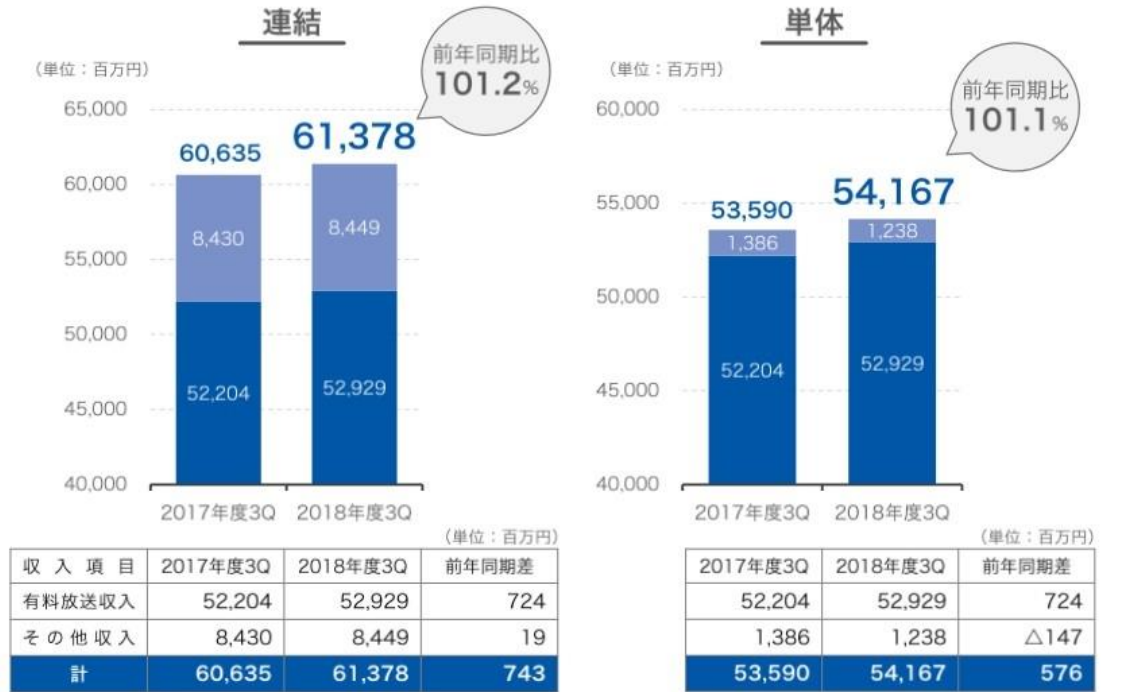
		2017年度3Q		2018年度3Q		前年同期比較	
		実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
連 結	売上高	60,635	100.0%	61,378	100.0%	743	101.2%
	営業利益	9,396	15.5%	6,764	11.0%	△2,632	72.0%
	経常利益	9,912	16.3%	7,315	11.9%	△2,596	73.8%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,870	11.3%	5,006	8.2%	△1,863	72.9%

単 体	売上高	53,590	100.0%	54,167	100.0%	576	101.1%
	営業利益	9,039	16.9%	6,343	11.7%	△2,696	70.2%
	経常利益	9,397	17.5%	7,025	13.0%	△2,371	74.8%
	四半期純利益	6,486	12.1%	4,867	9.0%	△1,618	75.1%

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

続いて2018年度第3四半期の収支の状況でございます。上の連結の収支状況をご説明いたします。18年度第3四半期は前年同期と比べ、増収減益となりました。売上高は613億7,800万、前年同期と比べ7億4,300万円の増収でございます。経常利益は73億1,500万円、前年同期に比べ25億9,600万円の減益となっております。詳細は次のページ以降でご説明いたします。

## 売上高 前年同期対比



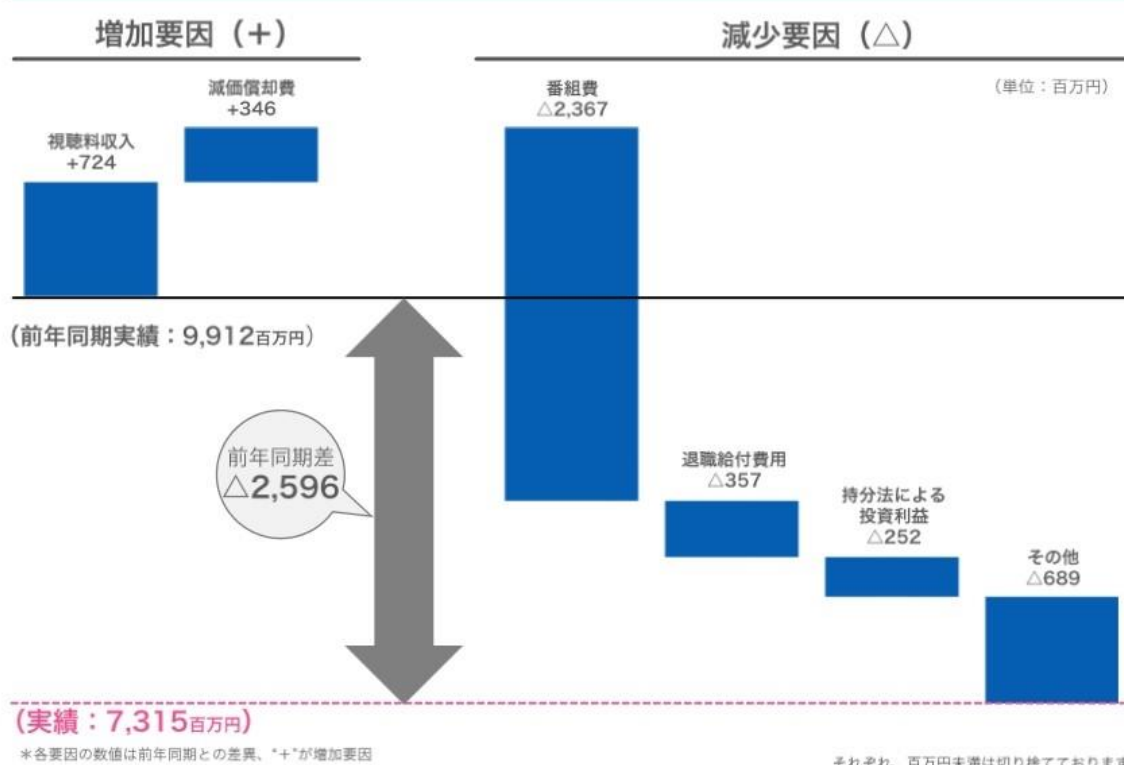
それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

売上高の前年同期の対比でございます。連結と単体売上高の対比となりますけれども、左側の連結売上高のご説明を申し上げます。連結売上高は前年同期と比べ7億4,300万円の増収となりました。その内訳として濃い青色の部分、有料放送収入は累計正味加入件数の増加等により、前年同期と比べ7億2,400万円の増収となっております。

薄い青色の部分であるその他収入でございますけれども、子会社の外部売上やイベント収入などが含まれております。その他収入は、単体では減収となっております。けれども連結子会社のWOWOWコミュニケーションズにおいて、既存の外部顧客からのテレマーケティング業務の受注などの増加により、前年同期と比べ1,900万円の増収となりました。



## 連結経常利益 前年同期との差異要因



続いて連結経常利益。前年同期との差異の要因をご説明いたします。左の部分が利益の増加要因、右の部分が利益の減少要因となります。まず左側の主な増加要因でございますけれども、一つは視聴料収入の増でございます。7億2,400万円の増でございます。累計正味加入件数の増加による売上の増加になります。もう一つは減価償却費の減でございます。これが3億4,600万円でございます。前年同期と比べ、放送設備の減価償却の減少が数字として表れております。

主な減少要因でございます。番組費の増、23億6,700万円でございます。大型番組に費用投下をしたということで、詳細は次のページでご説明申し上げます。もう一つ、退職給付費用。3億5,700万円。これは退職給付の計算方法をこれまで簡便法をとってございましたけれども、対象従業員が300人を超えたことから原則法に変更した影響でございます。

続いて持分法による投資利益の減、2億5,200万でございます。これは持分法適用会社でありますB-SAT社の利益の減に伴うものでございます。そして最後にその他、6億8,900万円の部分のコストの増でございます。これは例えば全米オープンテニスに合わせて、データ放送のアクトビラ、このシステムを活用したテレビ向けのライブ配信サービスを開始する際の、サービスのさらなる高度化に向けたコスト。あるいは同時配信開始に伴うコスト。こういったところが主要因でございます。

## 番組費の推移

大型コンテンツに費用投下等を行なったため、番組費は前年同期に比べ増加



\*有料放送番組費：オリジナルドラマ、映画（ハリウッドメジャー以外）、スポーツ、音楽など  
映画番組配給費：ハリウッドメジャーの映画 その他番組費：データ放送など

\*数値はすべて単体  
それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

続いて番組費の推移でございます。番組費は主に大型コンテンツに費用投下を行ったため、前年同期と比べ23億6,700万円の増加となりました。

番組費の主な内訳として、濃い青色の部分。これが有料放送番組費でございます。これはハリウッドメジャー以外の番組の費用となります。当第3四半期は大型コンテンツへの費用投下等により、前年同期と比べて22億7,000万円の増加となりました。薄い青色の部分は映画番組配給費でございます。ハリウッドメジャーから調達する映画のコスト等の費用となります。当第3四半期は主に為替の影響差によりまして、前年同期と比べ4,100万円の増加となっております。



## 主要な連結決算会社の収支状況

### ■WOWOWコミュニケーションズ（テレマーケティング）

（単位：百万円）

	2017年度3Q		2018年度3Q		前年同期比較	
	実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
売上高	5,528	100.0%	6,472	100.0%	944	117.1%
営業利益	143	2.6%	281	4.3%	137	195.6%
経常利益	143	2.6%	283	4.4%	140	197.4%
四半期純利益	97	1.8%	183	2.8%	86	188.4%

\*WOWOWコミュニケーションズ単体の数値です。

### ■WOWOWプラス（放送）

売上高	3,786	100.0%	3,791	100.0%	4	100.1%
営業利益	157	4.2%	122	3.2%	△35	77.8%
経常利益	157	4.2%	123	3.2%	△34	78.3%
四半期純利益	88	2.3%	87	2.3%	△0	98.9%

\*WOWOWプラス単体の数値です。

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

続いて主な連結決算会社の収支状況でございます。上段がWOWOWコミュニケーションズ、テレマーケティングセグメントでございます。当第3四半期の売上高は64億7,200万、経常利益は2億8,300万円となりました。既存顧客からのテレマーケティング業務の受注の増などにより、前年同期と比べ増収増益となっております。

下段がWOWOWプラスでございます。放送のセグメントになります。当第3四半期の売上高は37億9,100万円、経常利益は1億2,300万円となりました。売上高はほぼ横ばいとなりましたが、経常利益は番組制作費の増加等により、前年同期と比べ減益となっております。以上でございます。

司会: それではこれから放送する番組をまとめたビデオを上映いたしますので、前方のスクリーンをご覧ください。

## オリジナルコンテンツ及び主要ジャンルの強化①

### 映画界最大の祭典を独占生中継



生中継!  
第91回アカデミー賞  
授賞式  
2月25日(月)

### 世界最高峰の音楽の祭典を独占生中継



生中継!  
第61回グラミー賞  
授賞式  
2月11日(月・祝)

### 日本独占初放送の海外ドラマ全3作がスタート



日本独占初放送!  
最新海外ドラマ 字幕版全10話先行一挙放送!  
**スティーヴン・キング×J・J・エイブラムス**  
**「キャッスルロック」**  
2月2日(土)、3日(日)[第1話無料放送]

“ホラーの帝王”スティーヴン・キングと、  
希代のヒットメーカーJ・J・エイブラムスが仕掛ける、  
恐ろしくも魅惑的なダーク・ミステリーの超大作

#### キリング・イヴ/Killig Eve

2月6日(水)スタート(全8話)[第1話無料放送]  
美しく冷酷な暗殺者と優秀な捜査官との  
スリリングな攻防を描くスタイリッシュかつ  
ユニークなノンストップサスペンス。

#### カウンターパート/暗躍する分身

2月12日(火)スタート(全10話)[第1話無料放送]  
国連諜報機関で働く男が、自身とうり二つの  
諜報員に出会い、組織が隠す秘密を知る。  
陰謀と裏切りに満ちた新感覚スパイスリラー。

司会: それでは引き続きまして、2018年度の業績見通しについて、社長の田中よりご説明させていただきます。

田中: まずVTRの補足からさせていただきます。VTRにもありましたように2月、二つのアワードを独占生中継いたします。2月11日に第61回のグラミー賞。そして2月25日に第91回のアカデミー賞の授賞式を、それぞれ独占生中継いたします。

中でもアカデミー賞でございますけども、先ほどVTRでも紹介いたしました日本作品二つ。一つは是枝監督の万引き家族が外国語映画賞候補にノミネートされておまして、このノミネートは2008年のおくりびと以来になります。そして長編アニメ部門の未来のミライでございますけども、これもまたスタジオジブリ以外ではここに名を連ねるのは初めての快挙で、受賞を期待しているところでございます。

またWOWOWと、それからグループ会社のシネフィルWOWOW、共同で昨年を上回るボリュームで、アカデミー賞関連の作品を放送して、映画ファンに向けて共同プロモーションを展開していく計画でございます。

## オリジナルコンテンツ及び主要ジャンルの強化②

### 👤 オリジナルドラマが充実

連続ドラマW  
**それを愛とまちがえるから**  
2月9日(土)スタート(全5話)[第1話無料放送]

連続ドラマW  
**東野圭吾「ダイイング・アイ」**  
3月16日(土)スタート(全6話)[第1話無料放送]

WOWOW×東海テレビ共同製作連続ドラマ  
**ミラー・ツインズ**  
[Season1] 東海テレビ・フジテレビ系全国ネット オトナの土ドラ  
4月6日(土)～5月25日(土)(予定)<全8話>  
[Season2] WOWOW 連続ドラマW  
6月8日(土)スタート(予定)<全4話>

### 🏆 世界最高峰のスポーツをお届け

**男子テニス ATPツアー**  
2019シーズン「男子テニスATPツアー」計37大会を、  
WOWOWメンバーズオンデマンドで限定ライブ配信

生中継!  
**ラグビー欧州6カ国対抗戦 シックス・ネーションズ**  
2月2日(土)～3月16日(土)

### 🎵 大型アーティストのライブを放送

**L'Arc~en~Ciel LIVE 2018 L'ArChristmas**  
2月23日(土)

それからオリジナルドラマ、ドラマWでございますけども、VTRでは東野圭吾原作のダイイング・アイについて触れさせていただきましたが、ここではミラー・ツインズという作品に触れさせていただきます。

フジテレビ系列の東海テレビさんとの共同制作のドラマ、この第2弾でございます。一昨年2017年春に放送いたしました、ご記憶にあるかもしれませんが、犯罪症候群というドラマはお客様から大好評を得ました。その第2弾のこのミラー・ツインズでございますけども、シーズン1として4月6日から東海テレビ、フジテレビ系全国ネットでスタートいたしまして、その後シーズン2が当社の連続ドラマWとして、6月8日土曜日から放送予定でございます。

それからスポーツは、何といたってもテニスでございます。全豪オープンテニスで大坂選手のグランドスラムの2大会制覇、本当に素晴らしい感動の試合を放送できました。今年もシーズンを通じまして、当社はテニスに力を入れてまいります。グランドスラム4大会はもちろんのこと、男子のATPツアー。これは昨年、昨シーズンからメンバーズオンデマンドで限定ライブ配信を始めておりますけども、昨年32大会の配信を行いました。今年さらさらそれをパワーアップしまして37大会。昨年以上のボリュームで配信をしております。

## 2018年度 加入計画 (2018年5月15日公表値)

(単位：千件)

	2017年度 実績	2018年度 計画	前期比較	
			前期差	前期比
新規加入件数	591	600	9	101.6%
解約件数	537	570	33	106.1%
正味加入件数	53	30	△23	56.4%
累計正味加入件数	2,876	2,906	30	101.0%

続きまして加入計画、2018年度の着地見込みでございますけども、5月の公表値と変更ございません。新規加入件数60万件、解約件数57万件、正味加入件数3万件。累計正味加入件数、290万6,000件の見込みでございます。この計画達成に向けて残りふた月、しっかり取り組んでまいりたいと思っております。



## 2018年度 収支計画 (2018年5月15日公表値)

(単位：百万円)

		2017年度		2018年度		前期比較	
		実績	収入比	計画	収入比	前期差	前期比
連結	売上高	81,574	100.0%	83,300	100.0%	1,725	102.1%
	営業利益	9,875	12.1%	6,600	7.9%	△3,275	66.8%
	経常利益	10,698	13.1%	7,100	8.5%	△3,598	66.4%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	7,360	9.0%	5,000	6.0%	△2,360	67.9%
単体	売上高	72,202	100.0%	73,000	100.0%	797	101.1%
	営業利益	9,588	13.3%	6,000	8.2%	△3,588	62.6%
	経常利益	10,205	14.1%	6,500	8.9%	△3,705	63.7%
	当期純利益	7,025	9.7%	4,600	6.3%	△2,425	65.5%

(注) 番組費：単体の売上高比として約40.0%を見込む。  
想定為替レート：1ドル115円

それぞれ、百万円未満は切り捨てております。

年間配当	80円/株	80円/株	-	100.0%
------	-------	-------	---	--------

それに基づきまして収支計画でございます。これも5月の公表値と変更ございません。何度も申し上げますとおり、今期は増収減益を見込んでおります。連結売上高は視聴料収入の増加等により増収となる見込み、利益につきましてはコンテンツ強化、あるいはマーケティング改革に費用を投下することから減益となる見込みでございます。私からの説明は以上でございます。

## 質疑応答

---

司会: これから質疑応答に移らせていただきます。ご質問のある方は挙手にてお知らせください。係の者がマイクをお持ちいたします。それではご質問のある方、いかがでしょうか。

質問者 A: 2点ほどお願いします。まず1点目、経常利益の進捗率が100%を超えているということで、補足というかコメントというか、期ずれなのか何なのか、少しそこをお願いいたします。

黒水: それでは私からお答えさせていただきます。経常利益、結局こうなりまして伸びておりますけれども、大きく期ずれの要因がご指摘のとおりでございます。ということで、現状数字的には膨らんでおりますけれども、最終着地では少し調整が入るということでございます。期ずれでございます。

質問者 A: もう1点ですが、12月にネット同時配信を開始されたということで、状況と、あと今後の収益等に与える影響見込み、その辺りについて少しお願いいたします。

田中: 3チャンネルの同時配信、10月からトライアルでスタートして、本格的なサービスを12月から始めました。ただし現状、あくまでも放送の契約に付随した同時配信という状態ですので、同時配信だけでお客様が契約をするという段階にはまだ至っておりません。ただ、この同時配信のWOWOWメンバーズオンデマンドの同時配信の利用のされ方、つまりお客様の利用数は着実に伸びております。

WOWOWの契約者の中で接触時間、接触回数が明らかに増えておりますので、これが確実に新規加入への要因、あるいは解約抑止への要因になっていくと期待をしているところでございまして、ますます充実を図っていきたいと思っています。具体的な数については、まだご勘弁願いたいと思います。

質問者 B: 質問3点あります。よろしくお願いします。1点目は加入件数の数字ですが、第3クォーター終了時点で290万1,000件、今期目標が290万6,000件ということで、現時点で5,000件のショートだと思いますが、今の段階でこの目標は、このまま順調にいったら達成できるとお考えかお聞かせください。

2点目ですが、Paraviでの常時同時配信はまだ開始されていないように認識していますが、遅れている理由をお聞かせいただければと思います。

最後は4K放送に関する質問です。御社は来年2020年12月に放送開始予定ですが、BS日テレさんで今年12月開始予定だったのが3カ月前倒しして9月に開始するという動きもございまして、設備等の問題もあると思うのですが、4K放送のマーケット次第では放送開始時期を前倒しすることも視野に入れていらっしゃるのか、お考えをお聞かせください。以上3点をよろしく申し上げます。



田中：私からお答えさせていただきます。加入件数でございますけれども、先ほど着地の見込みも説明したとおりの数字を、残りの2カ月で達成を目指していきたいということでございます。上方修正も下方修正もせず、それをしっかり達成していきたいと思っています。

Paraviでの同時配信でございますけれども、現在、確かにサービス開始できておりません。その理由としましては、今、Paraviサイドと弊社との間で技術的なことや、バグが出ないかとかいうこと等の試験をしている真っ最中でございます。年度内には開始をすべく今、準備をしております。

また、4K、ご指摘の前倒し等々があるかということでございますけれども、現時点では計画どおり2020年12月放送開始に向けて設備の準備等々を進めているところでございます。

司会：ほかにご質問ございますでしょうか。

質問者C：大坂なおみさんがメジャーを2連覇しまして、今まで以上にWOWOWさんには追い風だと思いますが、次の全仏オープンテニスまでしばらく時間があります。その間に特番等を放送する計画がありますか。

田中：まず大坂なおみ選手の本当に快挙にあらためて拍手を送りたいと思います。2月3日に特番「グランドスラム2大会優勝！大坂なおみ全豪オープンへの道のり」の放送が決定しております。

司会：ほかにご質問のある方、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それではご質問がないようですので、ここで終了させていただきます。最後に田中社長、一言お願いいたします。

田中：本日はありがとうございました。繰り返しになりますけれども、全豪オープンテニスで大坂なおみ選手の歴史的な快挙の試合を生中継することができたことを、本当に嬉しく思っております。地上波のNHKさんも同時に放送されていて、高い視聴率を獲得されたと聞いております。そういった放送を見た子供たちが、次の大坂さん、次の錦織さんを目指してテニス人口が増えていって、日本のテニス文化がさらに発展していったら、とてもそれは弊社にとってはありがたいことだと思っております。

この全豪オープンテニスの中継でございますけれども、WOWOWは開局をしたその当初からずっと中継をしております。28年目、28回目の放送にして、ついに日本選手の優勝シーンを実は放送することができたということでございます。地上波さんがなかなかできないことの一つがコンテンツを育てることだと思っております。それはWOWOWの役割だとも思っております。今後もテニスに限らず、様々なエンターテインメントを有料放送の立場からプロデュースをしてみたいと思っていますので、どうぞご支援を賜りたいと思います。本日は誠にありがとうございました。

司会：以上を持ちまして、2018年度第3四半期決算説明会を終了させていただきます。毎度のお願いになりますが、お手元のアンケートにご記入をお願いいたします。ご記入後は机の上に置いてお帰りください。また、受付でお渡ししました入館証も併せて机の上に置いてお帰りください。

# WOWOW

本日は決算説明会にご出席いただき誠にありがとうございました。

以上